

今年度の評価項目	見えてきた課題／日常の意見・課題	振り返りを踏まえた改善内容	年度末時点での改善の進捗状況
保育・子どもに関する項目	食育・行事を通じた育ち（強み） 恵方巻・切干大根・収穫体験などの食育や行事で、達成感・主体性・保護者への発信につながる姿。	収穫のみの体験ではなくこども達が育てる、収穫する、調理する、食する過程とつながりのある取り組みに発展させる。 園内の掲示やSNSでの発信へつなげる。	各クラスそれぞれの野菜を育て、収穫、クッキング、食する取り組みが行われている。 管理栄養士による取り組みや給食の様子を写真やコメント付きで玄関に掲示、SNSへの発信。
保育・子どもに関する項目	異年齢交流・子ども同士の育ち合い（強み） 思いやり・応援・教え合いのエピソードが多数。異年齢の関わりが良い刺激になっている。	他クラス・他学年を意識した活動を継続する。 異年齢と一緒に給食を食べたり、他学年に関わる事のできる行事を行う。	3歳児・5歳児と一緒に給食を食べる機会を設け、子ども同士の関わりで刺激を受けている。 4歳児・5歳児が夏祭りを企画、準備をし、0歳から3歳児を招待し、全学年で関わる機会を設ける。
保育・子どもに関する項目	個別の成長支援（トイトレ・偏食等）（強み） 丁寧な関わりの工夫で排泄や食事の自立が進んだ事例が多数。保護者と成長の喜びを共有できている。	・育児担当制を取り入れる事で特定の保育者との愛着関係が深まり、子どもが安心して生活出来るようになった。 ・担当者が継続して一人ひとりのに排泄や食事の状況を把握し、個々に応じた丁寧な支援を積み重ねることで、安心して生活出来る環境づくりに繋げることができた。	・園と家庭が同じ方針で進み、お互いの情報を共有し無理なく進めていく。 ・子どもが安心でき、担任も無理なくトイトレが行える環境作りを進める。 ・担当保育者が無理なく関わり、安心して初めての食材にも無理なく挑戦し、成功体験を積み重ねていく。
保育・子どもに関する項目	コーナー保育・主体性保育への移行 環境づくりが進む一方、保育室のスペース確保が難しい（特に年中）。主体性を引き出す素材・環境整備が今後の課題。	・0.1歳児の保育室を隣接する部屋を繋げて保育空間を拡大し、十分に身体を動かせる環境作りを行う。 ・子ども達が自由に選んだり、手に取り、片付けたり整理整頓が出来るよう収納方法を充実させる。 ・子どもの「やってみたい」が自然に発案出来るよう素材の充実、少人数でじっくり遊んだり、考えたりする環境を整える。	・コーナー環境を定期的に見直す ・子どもの成長、興味、関心、季節に合わせて教材や玩具を入れ替えていく。そして遊びこめる場所作りをする。 ・こどもの援助について話し合う時間を確保、育児担当制やコーナー保育について考え方や方法を園全体で統一していく。
保育・子どもに関する項目	共有スペース（アトリウム・フレンド広場等）の活用・調整 猛暑で園庭が使えず室内活用が増加。運動会練習等でクラスが重なり取り合いに。1歳児の食事スペースや懇談での占有など、利用ルールの整理が必要。	・アトリウムやフレンド広場は異年齢児交流や保育者、保護者が関わることの・子どもの興味や発達に応じて、定期的に環境・遊具の見直しを行う。 ・園内4か所にスポットクーラーを設置し、熱中症対策を図ることで、気温の高い時期でも運動遊びや保育活動を安全かつ安心して実施することができた。	・異年齢児が関われる場所、預かり保育やバス待ちの際に思いやりや、憧れの気持ちを育てていく。 ・安全にゆったりと遊べる環境を常に整え、遊具の点検、清掃、整理整頓を常に心がける。 ・棚、椅子等の置き場所を見直し、見通しを良くし安全確認がしやすい環境にする。
保育・子どもに関する項目	給食の量・配膳方法 クラスごとの喫食量の差を踏まえ、より柔軟な配分方法についての要望。	棚を設置し、残食があるクラスはお代わり用の棚におくようにすることで、クラスを回り探す必要がないように改善。	
保育・園児に関する項目以外	玄関の温熱環境 季節による寒暖差が大きい玄関について、快適性向上の要望あり。	玄関の温熱環境については、登降園時に職員・園児・保護者が滞在する場所であることを踏まえ、まずは現状の暑さ・寒さの程度や時間帯による影響を確認する。短期的には、換気、空気循環、待機時間の短縮、職員配置の工夫等により負担軽減を図る。あわせて、置型冷房等の導入について、設置場所、電源、動線、安全面、費用面を整理し、抜本的な環境改善に向けて継続して検討する。	換気・空気循環の工夫や職員配置により、登降園時の負担軽減を図っています。
保育・園児に関する項目以外	砂場の整備 乳児用／幼児用の区画分け、屋根の設置、タープの更新など、より安全で遊びやすい砂場環境への要望。	園庭を乳児が安全に遊べるように、ブランターなどで区画分けをしていく。 砂場用玩具が日に当たり劣化するのを防ぐため、収納する棚の購入を検討。	砂場用玩具の劣化を防ぐため収納棚を購入し、園児が色の概念で分類できるよう、色ごとに収納できる形に整えました。
保育・園児に関する項目以外	空調・設備の不具合対応 空調エラー時の対応など、設備トラブルへの初動・連絡体制の整備。	空調等の設備不具合については、発生時に速やかに状況を確認し、使用可否、園児への影響、代替場所の確保、関係業者への連絡を行う流れを整理する。職員間で「誰に報告するか」「どの時点で業者へ連絡するか」が分かるよう、初動対応の手順を共有し、記録を残す。今後も不具合発生時の対応事例を蓄積し、再発防止や連絡体制の見直しにつなげる。	空調等の設備不具合については、発生時に状況確認を行い、必要に応じて関係業者へ連絡・対応しました。
保育・園児に関する項目以外	収納・備品・消耗品 制作活動に必要な収納・環境整備、消耗品の安定的な補充体制についての取り組み。	コーナー保育を進めていくにあたり、両面棚の購入が必要だが、棚を最大限活用するための環境設定の理解を進める。	主任を中心にコーナー保育について話し合いを行い、職員間で共通理解を深めました。
保育・園児に関する項目以外	上靴の仕様 マジックテープで踵踏みが目立つ。以前の形状への変更要望。	以前の形状は1センチ刻みで細かいサイズ調整が難しい。 又、足の甲が高い園児にはきつく感じるという事例もあったため、マジックテープの仕様を継続していく。踵踏みについては子どもたちへの靴の履き方指導で改善していく。	上靴の履き替えの際は踵踏みをしないように確認、指導を行っている。
保育・園児に関する項目以外	園庭の安全（草木） トゲの原因となる草木の撤去要望など、園庭環境の安全管理。	園庭の草木や遊び場周辺については、日常点検の中でトゲのある植物、枝の張り出し、転倒・接触につながる箇所を確認する。危険性が高いものは、必要に応じて剪定・撤去・立入範囲の調整を行い、園児が安全に遊べる環境を整える。一方で、自然との関わりも保育環境の一部であるため、すべてを排除するのではなく、安全に関わる判断基準を職員間で共有しながら継続して管理する。	園庭環境については、日常的な安全確認の中で危険箇所を把握し、必要に応じて草木の管理や撤去等を行いました。
保育・園児に関する項目以外	室内遊び・園舎環境 猛暑期に室内で十分遊べるスペースが不足。講堂・体育室等の活用や園舎環境の見直しを望む声。	猛暑や悪天候により園庭で十分に活動できない日を想定し、講堂、体育室、アトリウム等の共有スペースを計画的に活用できるよう調整する。クラス間で利用が重ならないよう、時間帯や活動内容に応じた使い分けを検討し、室内でも身体を動かせる機会を確保する。あわせて、園舎全体の動線、空調、活動スペースの使い方を見直し、限られた環境の中でも安全かつ充実した室内遊びができるよう継続して改善を進める。	猛暑時等には、講堂や共有スペースを活用し、室内で安全に過ごせる環境を整えました。

保育・子どもに関する項目	問題・課題	改善内容（改善の方向性）
① 砂場用玩具の収納について	砂場用玩具が日に当たり劣化するのを防ぐため、収納する棚の購入を検討	砂場用玩具の劣化を防ぐため、収納棚を購入した。また、収納方法も、園児たちが収納する際に色の概念で分類できるように色ごとに収納できるよう工夫した。
		
② 上靴の仕様	マジックテープを外さないまま履くことで踵踏みが目立つ。以前の形状へのものはマジックテープはなかった。	以前の上靴は1センチ刻みで細かいサイズ調整が難しい。又、足の甲が高い園児にはきつく感じるという事例もあったため、マジックテープの仕様を改善した。踵踏みについては上靴の履き替えの際にマジックテープをはずすことで踵踏みをしないように確認、指導を行って改善している。
	旧上靴	新上靴
		